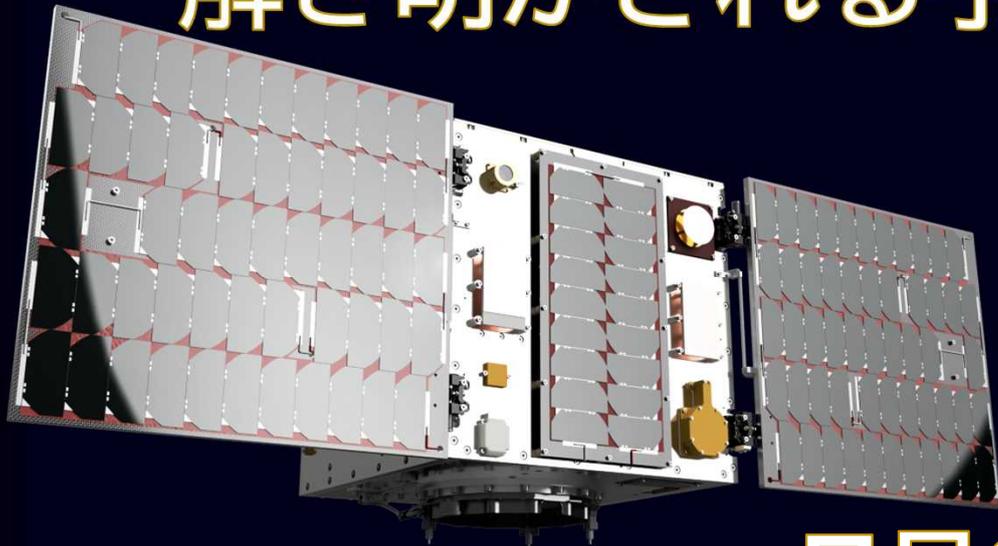


金沢大学 宇宙理工学シンポジウム

～打ち上げ迫る金大衛星

解き明かされる宇宙の姿～



2023年 7月22日(土)

13:00～16:30

金沢大学 サテライト・プラザ

金沢市西町教育研修館 内

プログラム

- 13:00 開会挨拶 (松本宏一 理工研究域長)
ARC-SAT事業概要
(八木谷聡 先端宇宙理工学研究センター長)
「こよう」開発全体報告 (澤野達哉 助教)
「こよう」ミッション系開発報告
「こよう」バス系開発報告
- 14:25 ポスターセッション
- 15:50 「あらせ」で見る宇宙プラズマの世界
(松田昇也 准教授)
- 16:30 閉会

参加申込方法



下記webサイト または 左のQRコード
からお申し込みください

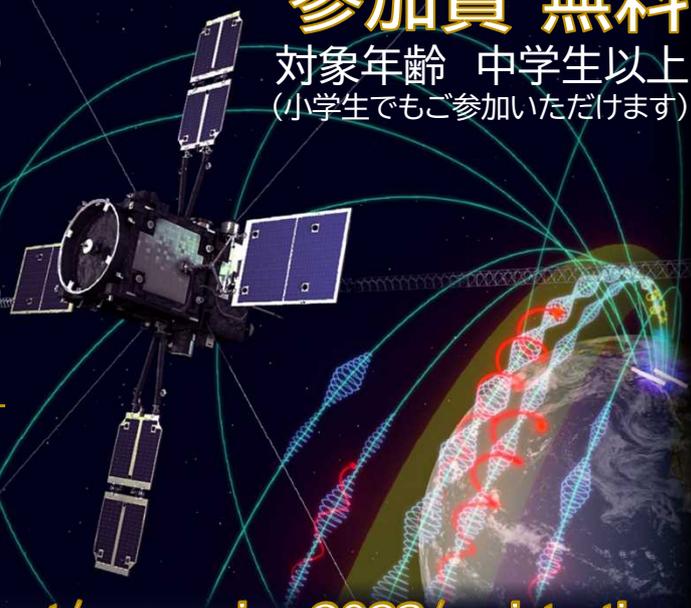
申し込み締め切り **7月21(金)**

<https://astro.s.kanazawa-u.ac.jp/arc-sat/symposium2023/registration>

上) 金沢大学衛星1号機 X線突発天体監視速報衛星こよう (KOYOH) 下) ジオスペース探査衛星あらせ © ERG Science Team

参加費 無料

対象年齢 中学生以上
(小学生でもご参加いただけます)



主催: 金沢大学 理工研究域 先端宇宙理工学研究センター
<http://arc-sat.w3.kanazawa-u.ac.jp/>
お問い合わせ先: arc-sat.event@ml.kanazawa-u.ac.jp



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY



金沢大学 理工研究域 先端宇宙理工学研究センター(ARC-SAT)



人工衛星や宇宙探査機を用いて太陽地球系から遠方宇宙までを理解するために、先進的な観測技術の開発とそれらを用いた科学観測をすすめます。また、研究開発を通して学生や若手研究者ら、将来の宇宙理工学分野を担う人材を育成します。



2023年現在、専任・兼任教員11名、学生約20名が所属しています。

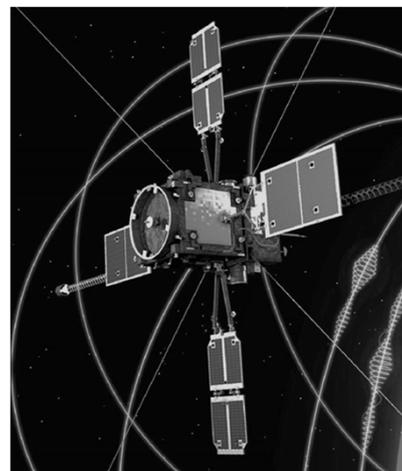
金沢大学衛星1号機 X線突発天体監視速報衛星「こよう」 (KOYOH)



金沢大学先端宇宙理工学研究センター(ARC-SAT)が開発中の超小型科学観測衛星で、本体は50cm角の立方体、重さは約45kgです。突然強力なX線などを発生するX線突発天体を観測します。さらに2015年に史上初めて検出され大きな話題となった「重力波」の観測施設と連携することで、「重力波天文学」という新しい学問分野の創成に貢献することをめざします。X線突発現象を観測するための装置をはじめ、金沢大学で開発された機器を搭載し、2023年度の打ち上げに向け準備が進んでいます。

ジオスペース探査衛星「あらせ」(ERG)

2016年に宇宙航空研究開発機構(JAXA)が打ち上げた重さ350kgの科学観測衛星です。地球近傍の宇宙空間(ジオスペース)には、非常にエネルギーが高い粒子が多量に集まる領域(ヴァン・アレン帯)が存在します。「あらせ」はこの領域への出入りを繰り返し、高エネルギー電子がどのようにして生まれてくるのか、そして関連が深い太陽風や宇宙嵐はどのように発達するのかを明らかにします。金沢大学の研究者もこの衛星に機器を提供し観測に参加しており、多くの科学成果が生み出されています。



会場アクセス

金沢大学サテライト・プラザ

920-0913 金沢市西町三番丁16番地

金沢市西町教育研修館内

(金沢駅から) 北鉄バス「武蔵ヶ辻・近江町市場」停

(香林坊方面から) 北鉄バス「南町・尾山神社」停

下車後、徒歩 約5分(上堤町信号から尾崎神社へ進み、左側)

※ 一般参加者用の駐車場はありません。公共交通機関でお越しください。

